



ディレクトリから **qtree** への変換

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

ディレクトリからqtreeへの変換	1
ディレクトリのqtreeへの変換	1
Windowsクライアントによるディレクトリのqtreeへの変換	1
UNIXクライアントによるディレクトリのqtreeへの変換	2

ディレクトリからqtreeへの変換

ディレクトリのqtreeへの変換

FlexVolのルートにあるディレクトリをqtreeに変換する場合は、クライアントアプリケーションを使用して、このディレクトリ内のデータを同じ名前の新しいqtreeに移行する必要があります。

タスク概要

ディレクトリをqtreeに変換するための手順は、使用するクライアントによって異なります。実行すべき手順の概要は次のとおりです。

開始する前に

既存のCIFS共有と関連付けられているディレクトリは削除できません。

手順

1. qtreeに変換するディレクトリの名前を変更します。
2. 元のディレクトリ名を指定した新しいqtreeを作成します。
3. クライアントアプリケーションを使用して、ディレクトリの内容を新しいqtreeに移動します。
4. 空になったディレクトリを削除します。

Windowsクライアントによるディレクトリのqtreeへの変換

Windowsクライアントを使用してディレクトリをqtreeに変換するには、ディレクトリの名前を変更し、ストレージシステムにqtreeを作成して、ディレクトリの内容をqtreeに移動します。

タスク概要

この手順には、エクスプローラを使用する必要があります。WindowsのコマンドラインインターフェイスやDOSプロンプト環境は使用できません。

手順

1. エクスプローラを開きます。
2. 変更するディレクトリのフォルダアイコンをクリックします。



目的のディレクトリは、包含ボリュームのルートにあります。

3. *File*メニューから*Rename*を選択して、このディレクトリに別の名前を付けます。
4. ストレージシステムで、`volume qtree create`コマンドを使用して、ディレクトリの元の名前で新しいqtreeを作成します。["ONTAPコマンド リファレンス"](#)の`volume qtree create`の詳細を確認してください。
5. エクスプローラで、名前を変更したディレクトリフォルダを開き、フォルダ内のファイルを選択します。
6. 新しいqtreeのフォルダアイコンに、これらのファイルをドラッグします。



移動するフォルダ内のサブフォルダ数が多いほど、移動処理に時間がかかります。

7. ファイルメニューから削除を選択して、名前が変更された空のディレクトリフォルダーを削除します。

UNIXクライアントによるディレクトリのqtreeへの変換

UNIXでディレクトリをqtreeに変換するには、ディレクトリの名前を変更し、ストレージシステムにqtreeを作成して、ディレクトリの内容をqtreeに移動します。

手順

1. UNIXクライアントのウィンドウを開きます。
2. `mv`コマンドを使用してディレクトリの名前を変更します。

```
client: mv /n/user1/vol1/dir1 /n/user1/vol1/olddir
```

3. ストレージシステムから、`volume qtree create`コマンドを使用して元の名前のqtreeを作成します。

```
system1: volume qtree create /n/user1/vol1/dir1
```

`volume qtree create`の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-qtree-create.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-qtree-create.html) ["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

4. クライアントから、`mv`コマンドを使用して、古いディレクトリの内容をqtreeに移動します。



移動するディレクトリ内のサブディレクトリ数が多いほど、移動処理に時間がかかります。

```
client: mv /n/user1/vol1/olddir/* /n/user1/vol1/dir1
```

5. `rmdir`コマンドを使用して、古い空のディレクトリを削除します。

```
client: rmdir /n/user1/vol1/olddir
```

終了後の操作

UNIXクライアントの`mv`コマンドの実装方法によっては、ファイルの所有権と権限が保持されない場合があります。その場合は、ファイルの所有者と権限を以前の値に更新してください。

この手順で説明されているコマンドの詳細については、"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"を参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。